

令和元年度 電気化学会北陸支部 秋季大会記録

(共催：電気化学会北陸支部、ECS日本支部)

「研究発表会」(参加者 40名)

日時：11月7日(木) 10:30～16:00

場所：新潟大学 中央図書館 ライブラリーホール

- 一般研究講演 15件
- 若手研究者講演 1件

八木正行先生の開会の挨拶の後、一般講演および若手研究者講演として、各大学で進んでいる研究の成果についてプレゼン発表があった。ECSからの補助金を頂いて実施した若手研究者講演については、要旨も英文で作成した。発表者の発表・質疑応答対応の技術について審査を行い、優秀発表賞2名が選ばれた。新潟大学生協第一食堂での懇親会にて表彰を行った。

◎優秀発表賞

- 新潟大学 三宅 滉史さん
- 金沢大学 黒川 侑摩さん



一般講演の様子 (ライブラリーホール)



優秀発表賞 表彰式の様子

「特別講演会」(参加者 40名)

日時：11月7日(木) 16:10～17:10

場所：新潟大学 中央図書館 ライブラリーホール

「生物の問題解決法に学ぶセンサ・アクチュエータの設計と開発
ーセレンディピティ的発想によるものづくりー」
新潟大学大学院自然科学研究科 山内健 教授

特別講演では新潟大学 山内健先生より、「生物の問題解決法に学ぶセンサ・アクチュエータの設計と開発」と題してご講演頂いた。まず、革新的問題解決法として知られる **TRIZ** 法を活用して生物機能を材料設計に取り入れることで技術問題を解決する「バイオ **TRIZ**」についてご説明があり、バイオ **TRIZ** のデータベース化と、さらにこのデータベースを活用した高性能グルコースセンサやアクチュエータの開発に関する研究例が紹介された。



特別講演の様子（ライブラリーホール）

以上